

第2回日米女性研究者シンポジウム参加者募集要項

1. 会議名

Crossing Boundaries with Informatics – 基礎科学から社会基盤へー：女性研究者のエンパワーメントと新領域創成の新たな展開に向けた日米シンポジウム

“Crossing Boundaries with Informatics - from Basic Science to Social Infrastructure”:
US-Japan “Connections” Symposium for Women Leaders in Science, Technology and Engineering and Mathematics

2. 趣旨

本シンポジウムは、2010年7月に国立女性教育会館・米国国立科学財団の共催で開催された日米シンポジウム「女性研究者のエンパワーメントと新領域創成に向けた日米シンポジウム／Connections: Bringing Together the Next Generation of Women Leaders in Science, Technology, Engineering and Mathematics」を継承して、企画・実施されるものです。

今回は、「情報科学、認知、ゲノム解読、パターン認識、材料科学、バイオミメティクス、大規模データ等」をキーワードに、様々な基礎科学分野で活躍する気鋭の日米女性研究者が集い、日米間の共同研究を含む分野融合・連携による新学術領域の創成、および基礎研究から社会基盤づくりへの貢献・展開を図る方策等について議論し、その推進・展開の核となるような女性研究者の知的・人的ネットワークを構築して、女性研究者のエンパワーメントと実質的な活躍促進を目指します。

2011年3月に経験した震災・原発事故の後、科学者には Curiosity-driven Science と同時に Needs-driven Science を強く意識することが求められる中、科学技術へのアクセシビリティや生活との調和について一般社会のニーズに、より鋭敏な女性研究者が次代に向けた科学研究、および科学の在り方を牽引していかれるように、本シンポジウムが互いの意識を高め合う機会になることを強く期待しています。

3. 主催

日本学術振興会ワシントン研究連絡センター
米国国立科学財団 (National Science Foundation) (予定)

4. 開催場所・時期

開催地：ワシントン DC (米国)
開催時期：2013年7月1、2日 (2日間)

5. 使用言語

英語

6. 募集人数

日本側参加者として、7名程度を公募します。

7. 対象分野等

参加者は下記のいずれかに該当すること。

- ① 情報科学・認知科学分野の研究者で、②に挙げるような様々な基礎科学を融合・連携させ、将来的に社会基盤としていく意欲のある女性研究者。
- ② 材料科学、生物学、医学・保健学を含む基礎自然科学分野の研究者で、情報科学・認知科学との連携により新たな学術領域の創出や社会基盤形成への具体的貢献に意欲のある女性研究者。

8. 組織委員会

以下の3名による日本側組織委員会を設けています。

有賀早苗（北海道大学副理事・大学院農学研究院教授）

久保真季（沖縄科学技術大学院大学副学長）

郷 通子（情報・システム研究機構理事・前お茶の水女子大学学長）

米国側組織委員会については、現在、検討中です。シンポジウム全体の企画・構成にあたっては日米組織委員会を中心に主催団体で協議して決定いたします。

9. 実施形態

1) シンポジウム

2日間のシンポジウムには日米各7名程度が参加し、一部セッションは公開で行われます。公開セッションでは、趣旨に沿ったプレゼンテーション、議論を行い、日米女性研究者の活躍促進への理解および活躍ヴィジビリティの向上を図ります。

非公開セッションでは、具体的な分野連携・共同研究の進め方等、今後の研究推進・ネットワーク形成に向け、参加者間で議論を深めるセッションを行います。

参加者は、各々の専門分野にとらわれず、新領域の創成や社会基盤づくりへの展開について主体的・積極的に議論に参画することが求められます。

2) Plus One Visit

本シンポジウム参加後、本シンポジウムに関連した研究打ち合わせ等を行うために、米国内の研究機関を訪問することができます。ただし、予算の制約がありますので、訪問場所・期間等はあらかじめ事務局と調整する必要があります。

3) 報告等

シンポジウム実施後1ヶ月以内に、報告書等所定の提出物を提出していただきます。また、フォローアップアンケートへのご協力もお願いいたします。

10. 経費等

日本側参加者に係る以下の経費は主催者より支給されます。

- 1) 参加者の所属機関からシンポジウム開催地までの往復交通費（国内旅費、外国旅

費)

- 2) シンポジウム期間中の宿泊費
- 3) 「Plus One Visit」に係る交通費・宿泊費

11. 応募方法

下記の書類を、受付期間内に提出してください。自薦、他薦を問いません。

- 1) 提出書類：参加者候補推薦書（様式1）
- 2) 受付期間：2013年2月15日～2013年3月15日

12. 選考及び選考結果の通知

本シンポジウムオーガナイザーが有識者の意見も参考にしつつ選考し、2013年3月頃に選考結果を通知します。

シンポジウム開催時において、日本の研究機関に所属する女性研究者であれば年齢・職位等に関わらず応募資格がありますが、審査選考に当たっては、以下の点を重視します。

- 1) 優れた研究業績があり、現在、活発な研究活動を行なっていること
- 2) 自身の専門分野に限らず幅広い分野に対して興味関心を持っていること
- 3) 英語での議論・意見交換に支障のない英語力を有すること
- 4) リーダーシップを発揮できること
- 5) 女性研究者の活躍促進、エンパワーメントに関心があること
- 6) 全日程に参加できること

13. その他

- 1) 提出された書類は返却できません。
- 2) 選考結果に対する問い合わせには応じかねます。
- 3) 申請書類に含まれる個人情報については、本シンポジウムの業務遂行のためのみ利用します。なお、採用された参加者の氏名、職名、所属部署名、所属機関名等が、本シンポジウムの報告書等において公表されることがあります。

14. 事務局（提出先及び問い合わせ先）

応募書類は、下記メールアドレスあてに、参加者候補推薦書（様式1）の電子ファイル（PDF形式）を添付して提出して下さい。

info@jpspsusa.org（diversity@oist.jpを必ずCCに入れて下さい。）

また、メールのタイトルを「日米女性研究者シンポジウム申請：（申請者氏名）」と明記してください。

問い合わせ先：

098-966-8465（沖縄科学技術大学院大学 人材多様化セクション）

受付番号 _____

(平成25年度)
第2回日米女性研究者
シンポジウム
参加者候補推薦書

①分科	
②細目	
③分科細目コード	
④専門分野	

推薦者

推薦者 職	推薦者 氏名
推薦者の連絡先等	
所在地：〒	
機関名：	
所 属：	TEL：
職 名：	FAX：
氏 名：	e-mail：

候補者

(フリガナ) ⑦氏 名		⑧ 性別	女
⑨ 生年月日	西暦 年 月 日 生 (2013年4月1日現在 歳)		
⑩ 現 職	所属機関・部局名		職 名
⑪ 所属機関 住所等 連絡先	〒 TEL: FAX: e-mail:		
⑫ 略 歴 (西暦で記入。 特別研究員RPD等 の採用歴があれば記入すること。)	1. 年 月 大学大学院 研究科修士課程修了 2. 年 月 大学大学院 研究科博士課程修了 3. 年 月 博士 () の学位取得 (大学) 4. 年 月		
⑬ 過去の在外研究歴 (在外研究、外国留学等につ いて、研究機関名、期間、 目的等を記入すること。)			
⑭ 過去に受けた主な賞等			

⑮ 研究テーマ (40字以内)
⑯ 推薦理由 (特に、募集要項の「1 2. 選考及び選考結果の通知 1) 優れた研究業績があり、現在、活発な研究活動を行なっていること。3) 英語での議論・意見交換に支障のない英語力を有すること。4) リーダーシップを発揮できること。5) 女性研究者の活躍促進、エンパワーメントに関心があること」の観点から記述してください。)
⑰ 主な論文または著書等 (3件以内) (査読の有無を明記してください。)

推薦者署名

推薦者 職・氏名

署名

(学術研究機関の長または部局長のみ職印でも可)